【レジメン名】FOLFIRI＋ラムシルマブ療法

【病名】治癒切除不能・進行再発の大腸癌（2 次治療以降）

【投与量】

Day 1 に投与

ラムシルマブ	8 mg/kg：60 分かけて※[1]）
イリノテカン	150 mg/m²：90 分かけて※[2]）
レボホリナートカルシウム	200 mg/m²：120 分かけて※[2]）
フルオロウラシル(急速静注)	400 mg/m²：全開投与(10 分ぐらいかけて)
フルオロウラシル(持続静注)	2400 mg/m²：46 時間持続投与

1 クールを 14 日間とする

※[1]）忍容性を確認後に短縮可

※[2]）同時に投与

	Day 1	Day 2	……	Day 15
ラムシルマブ	↓			↓
イリノテカン	↓			↓
レボホリナートカルシウム	↓			↓
フルオロウラシル(急速静注)	↓			↓
フルオロウラシル(持続静注)	→	→		→

★備考

・ラムシルマブ投与時に発現する infusion reaction を軽減させる為、投与前に抗ヒスタミン剤（ジフェンヒドラミン）の投与を施行。

・ラムシルマブによる高血圧が発現することがある為、投与開始前及び投与期間中は定期的に血圧の測定を実施。

・ラムシルマブによるネフローゼ症候群、蛋白尿が発現することがある為、投与期間中は定期的に尿蛋白の検査を実施。

・中等度催吐性リスク。